

松戸市議会9月定例会にて 市庁舎移転関連予算可決

松戸市議会9月定例会が、9月26日に閉会しました。最終日には、長い間議論されてきた市役所庁舎移転関連費用が初めて可決されています。この予算可決によって、庁舎移転が具体的な第一歩を踏み出したといえるでしょう。

今回可決されたのは、①国から買い取る土地に残された建物の解体費用約2億3千万円、②移転用地周辺家屋等の調査委託量約1億円、③新庁舎建設整備計画策定委託料約7千万円、計約4億円です。

松戸市は現在、松戸駅東口にあるイトーヨーカドー裏手の相模台地区にある国有地の買取りを進めています。かつて法務局として使われていた場所です

ここにはまだ当時の建物が残されたままです。その解体をし、周辺の安全性を確認しつつ、どのような庁舎を建設するか検討を進めていくこととなります。ですので、今回の3つの予算の可決は、新たな市役所建設へのスタートです。



建て替えが望まれる市役所本館

令和5年度一般会計決算額 約2,013億円で可決承認!

松戸市議会では、定例会を年に4回開催しています。3月、6月、9月、12月に行いますが、9月議会は前年度の決算を審査するとても重要な定例会です。今議会でも令和5年度決算審査を行いました。一般会計について約2,013億円で承認されました。

今回の決算の特徴としては、世界中を震撼させた新型コロナウイルスの影響がやや収まってきた当時の状況を反映しています。数字からも、経済援助費や予防感染防止対策費といった、コロナ対策全般の取り組みが少しずつ縮小はじめていたことをうかがわせます。その分、国からの助成費も減額され、決算規模は若干小さくなっています。

民生費の割合は引き続き高く、各分野の福祉を向上させ維持していくことにはますます困難がともなうでしょう。高齢化が進むなかで、いかに税収を上げ、豊かな市民社会を実現していくか。そこには徹底的にムダをなくす行政運営が必要です。



みのわ 信矢 プロフィール

- 昭和42年6月29日生まれ
- 出身地 松戸市常盤平
- 学歴
昭和55年 常盤平第1小学校 卒業
昭和58年 青山学院中等部 卒業
昭和61年 青山学院高等部 卒業
平成 2年 青山学院大学
経営学部経営学科 卒業

- 主な議会経歴
松戸市議会議員 5期目
松戸市監査委員
教育環境常任委員長
都市整備常任委員長
予算審査特別副委員長
決算審査特別副委員長 など

- その他の主な経歴
中央学院大学 法学部 非常勤講師
松戸市子ども会常盤平地区 会長
松戸市立常盤平中学校 P T A 会長
松戸青年会議所 常任理事